

(様式第4号)

上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1 審議会名	第5回 上田市行財政改革推進委員会
2 日時	令和3年1月12日 午後1時30分から午後3時40分まで
3 会場	市役所本庁舎 5階 第1,2委員会室
4 出席者	増澤会長、岩木副会長、倉嶋委員、清水委員、鈴木委員 高橋委員、竹内委員、平田委員、増子委員、丸山委員 山極委員、吉池委員
5 市側出席者	中村総務部長、小林行政管理課長、小林行政改革担当係長 宮下行政管理課主査、坂口行政管理課主査
6 公開・非公開	<u>公 開</u> ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年1月15日

協 議 事 項 等

1 開 会 (行政管理課長)

2 あいさつ (会 長)

本日は、お忙しところ、御出席いただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染者が急増し、首都圏等では緊急事態宣言が発出されている。

コロナを機に、今まで当たり前であったものが当たり前ではなくなっている。

これからは、「コロナとどう共存していくか」が、大きな問題になっている。官も民も知恵を絞る、それが試されているのだと思う。

デジタル化等も言われているが、今後はスピード感が試されているのではないかな。

年末年始にかけて、行財政改革大綱の素々案について各委員さんにお送りさせていただいて、御意見をいただいた。本日は、素々案についての説明と、いただいた御意見についての考え方について議論を行う予定。

2月末の答申に向けて、非常にタイトなスケジュールであるが、皆様のお力をお借りして進めてまいりたい。よろしく願いしたい。

(総務部長)

会長から、お話があったとおり、新型コロナウイルス感染症感染者が急増している。上小地域でも、既に昨年8月末から9月の第2波の時と同じ位の感染者数となっており、予断を許さない状況である。

本日は、急遽対策本部会議が行われることになり、中座をさせていただくが、御容赦いただきたい。

3 協議事項

(1) 第四次上田市行財政改革大綱(素々案)について

(2) パブリックコメント及び今後のスケジュールについて

・資料に沿い、事務局から説明

(3) 意見交換

(委 員) 背景と課題の中に、市民との協働ということが書かれているが、自治会、分館、自治会連合会、地域協議会、まちづくり団体などがあり、様々な市の部局から、様々な書類の提出が求められる。また、自治会によっては、高齢化等で役員のなり手が不足している現状もある。今日、回答をいただく必要はないが、もっと、簡素化できないかということ意見を意見として申し上げたい。

(事 務 局) 委員御指摘のことは、市としても承知しており、月2回発行していた広報うえだを月1回としたり、コロナを契機に簡素化できるものはないのかという考え方は必要であると思う。

どのような形で大綱に入れるのか、アクションプログラムに入れるのかということは、この場では回答致しかねるが、検討させていただく。

(委員) 自治会と地域協議会、住民自治組織の役割分担について、同じことを違う団体で重ねてやっているということがあると思う。役割分担をきちんと行うことが重要ではないかと感じている。

次に、移住促進について申し上げたい。コロナ禍の中、移住希望者が増えているということが報道でも報じられている。人口減少を食い止めるためには、移住促進が非常に重要であると考えている。どこに入れるかは別にして、どこかに移住促進を入れていただくことが必要ではないか。

もう1点、人材育成について。「専門性の求められる業務に従事する職員については、専門機関の研修を受けることで人材育成に努めている」、という回答があったが、それでは間に合わないのではないかと思う。他の自治体ではやっているが、「期限付き任用職員」として専門家に来てもらうということも必要ではないか。検討していただきたい。

(事務局) 期限付き任用職員については、担当課に伝えさせていただく。移住促進については、総合計画の中で盛り込まれていることから、行財政改革大綱には盛り込む必要は無いと考えた。

(委員) 市民からすると、行財政改革大綱に書いてあるのか、総合計画にあるのかということについては、どうでも良いことだと思う。例えば、移住についての施策はどこに書いてあるのかということが、HP等で検索することができれば良いのではないかと思う。

(事務局) 総合計画については、毎年進捗管理をしている訳ではないので、進捗管理の紐づけをHPで行うことは難しいと思う。

(会長) ○○については、総合計画にありますということが分かれば良いのかなと思うので検討をいただければと思う。

もう1点。最近、PDCAではスピード感に欠けるということがあり、PDCAサイクルに代わって、OODA ループという考え方を取り入れている民間企業が増えている。大綱に入れるのか、アクションプログラムに入れるのかはともかく、こうした考え方も取り入れたらどうかということで、提案させていただいた。

(事務局) OODA ループはスピード感があって良いのだが、失敗しても良いという部分が、行政にはあまり馴染まないのではないかと考えている。

(会長) 部分的でも良いので、検討していただければと思う。

(委員) 失敗したらいけないということではなくて、失敗したら、「何がいけなかったのか」を検証すれば良いと思う。失敗を恐れるあまり、何もしないということが、一番良くない。チャレンジすることは重要ではないか。

(事務局) そういった前向きな考えも必要であると思う。OODA ループについての懸念をもう1点申し上げると、「致命的な失敗でなければ、失敗を許す」とあるが、何が致命的なのかという判断が難しい。そういった部分で、行財政改革大綱の中にOODA ループを全面的に取り入れるというのは、表現しづらいのではないかと思う。

(委 員) 経常収支の目標が、類似団体の平均値にするというのが、良くわからない。他の計画等を見ても、先進地を研究して・・・ということが散見される。上田市が先進地になるという気概が必要ではないか。

(事 務 局) 御意見として承る。

(委 員) 大綱の位置付けの図について、図の中に色々な計画があつて、その関連性が良くわからない。言葉が盛りだくさん過ぎて、理解が進まないのも、もっとシンプルにできれば良いと思う。

もう1点、職員の人材育成について申し上げたい。

コロナを契機に時代が大きく動いたと言われている。デジタル化の推進、カーボンニュートラルなど、世の中が大きく動いている。政府もスピード感を持って対応していると感じているし、市としても、あまり守りに走らず、大胆さが必要ではないか。デジタル化にしても、専門家が必要になると思うので、民間から登用するなど、対応が必要ではないかと思う。

(事 務 局) 図については、分かりやすくなるように訂正したい。人材育成についての御意見については、御指摘のとおりだと思う。

(会 長) 一昨年、東日本台風の際に、職員の専門性や経験というものが重要だと感じた。ぜひ、職員の研修等も含めて、人材育成に取り組んでいただきたい。

4 閉 会 (会 長)